

平成28年度 第3回 社会教育委員の会議 摘録

- 【日 時】 平成28年11月29日（火）午後2時00分～4時10分
- 【場 所】 生涯学習支援センター 1階 多目的室
- 【出席委員】 古賀（靖）、村田、豊満、堺（婦）、笹井、松尾、江崎（君）、江崎（美）、浦、上妻、高安、柿川、堺（裕）（敬称略）
- 【欠席委員】 坂本（敬称略）
- 【行政関係者】 岡田市民協働部調整監、中村地域コミュニティ推進課長、新村生涯学習課青少年担当課長、徳永スポーツ推進室長、村上人権・同和教育課主幹、田中生涯学習課文化芸術担当主査、吉富生涯学習課青少年教育担当主査、新開同課青少年教育担当職員、古家地域コミュニティ推進課社会教育主事、上田同課社会教育担当職員

◆あいさつ

岡田市民協働部調整監

◆報 告

1 九州ブロック社会教育研究大会福岡大会について

配布資料『研修会参加報告書』に基づき、松尾委員、上妻委員より報告。

2 平成28年度筑後地区社会教育委員研修会について

豊満委員、高安委員、柿川委員より報告。

3 平成27年度の意見を踏まえた経過報告について

配布資料『平成27年度社会教育委員の会議の意見を踏まえた取組みの経過報告』に基づき、説明。一同、承認。

4 第69回成人式の実施について

配布資料『第69回 成人式実施要項』に基づき、新村生涯学習課青少年担当課長より説明。

◆議 題

「子育て情報誌おおむたっ子」に掲載する社会教育委員からのメッセージについて

配布資料『協議事項「社会教育委員からのメッセージについて」』に基づき、吉富生涯学習課青少年教育担当主査より説明。その後、委員による意見交換。

議長	今回は、『子育て仲間を見つけよう』をテーマでメッセージを掲載する。 このテーマに関して伝えたいメッセージはあるか。
委員	自分の経験から「子育て仲間を見つけよう」というメッセージを考えた。 自分が子育てしていて楽しいと思ったことや嫌だったことがあったが、1

	<p>人でいると、「自分だけが子育てをしている」という考えになってしまい、ノイローゼになってしまう場合もある。子育ての不安や悩みを話せる人がいるかが大切で、自分は義母に相談をしていた。誰に相談すれば良いかと悩んでいた時期もあった。最初に話せる人を見つけることは大事だが、どうすれば見つかるかが分からない人も多いと思う。</p>
議長	<p>相談する相手を見つけることが大切だが難しい。子育てネットワーク代表として参加されているが、このことについて何かアドバイス等あるか。</p>
委員	<p>現在、子育てネットワークは子育てサークルの集まりとなっていて、サークルが孤立化してきている。サークル会員が減少しているサークルもあり、無くなってきている。</p> <p>自分の子どもが中学生の時、非行に走り、誰に相談すれば良いか分からなかった。他のお母さん方が同じこと（例えば子どもの非行）を経験しているとは限らないので相談できなかった。自分が相談したのは甘木山学園などの施設やスクールカウンセラー。学校の校長先生が学校に来ませんかと言ってくださり、校長室でスクールカウンセラーに聞いてもらえるだけでも安心したし、学校もそういう役割を果たしてくれる。相談してくれるところを決めるのではなくて、いろんな施設を紹介するだけでも違うのではないだろうか。子育てに関する施設や支援事業をもっと広報していくとともに、子どもが通っている幼稚園や保育園・学校でも相談ができること、またガールスカウト・ボーイスカウト等でも子育ての先輩としてアドバイスがもらえるのではないか。</p>
議長	<p>どこに・誰に相談すれば良いだろうか。甘木山学園や学校、ガールスカウト等という施設・団体にも、相談することができることを知らない人もいるだろう。知るだけでも悩んだ時に相談するところがないという人は減るのではないだろうか。</p>
委員	<p>何に悩んでいるかは、人それぞれ異なる。しつけや非行、教育面等、悩みは一つではない。子育ての先輩がいるようなところを教えることで、相談できる場所の選択肢が増えると思う。また、民生委員や児童委員にも相談できるのではないか。</p>
議長	<p>民生委員をされている立場から意見等はあるか。</p>
委員	<p>基本的に子どもに関することは主任児童委員が担当であるため、民生委員は子どもに関する相談までは受けていない。しかし本来は子どもに関することは地域住民皆でするものだと考えている。自分は「困ったら声を出してね伝えてね」をキャッチフレーズに活動しており、悩んでいることを話すだけで結論が出ることもあるのではないか。今、自分が困っていることは、地域に不登校の子ども達がいること。登校することを無理強いせず、外に行きたくなるような手助けをしていきたい。民生委員はあくまでもパイプ役として、悩んでいる人が相談できる適当なところへ繋いでいく役目。</p>
議長	<p>つながりをつくることが大切だと思うが、今サークルが孤立化し、会員</p>

	が減少しているという話もあったが、読書ボランティアではつながりをつくるためにどうしているか。
委員	小学校で読書ボランティアの活動をしているが、悩んでいる保護者に「入ってみませんか」と声をかける。そこには小学校1年生～6年生までの先輩ママがたくさんいるので、いろんな相談をすることができ、その後サークルに引き込んでいく。
議長	サークルがあることを気付かないということもあると思う。サークルに悩んでいるお母さん等を引き込むための啓発は何かされているか。
委員	公民館には50以上ものサークルがあり、それぞれで集まって活動をしている。自分は親よりも子ども本人を集団の中に巻き込むことが大切と考えている。不登校などで悩んでいる子どもがいるという相談をサークルの皆さんにすれば、子どもと何かしようと集まると思う。子どもを引き込むことで、親も引き込むことができ、相談できる人をつくる環境ができると思う。
議長	子どもを引き込むという話が出ましたが、子どもと一緒にという活動をされている立場として、何か考えはあるか。
委員	自然相手のものを多く取り組んでいるが、先週、親子で三池山の自然に入って、昆虫や植物などを見て感動してくれた。子ども達に自然の中で命の大切さを感じてほしいと思い活動している。子ども達は毎回、驚いたり感動してくれたりする。
議長	親子で参加できるような事業は大切。
委員	自分は、子どもが保育園に行っている時に子ども劇場のメンバーに声をかけていただき、突破口が見えた。自分は大牟田市外から嫁いできたため、知り合いも居らず、孤独であったが、子ども劇場のメンバーの皆さんと一緒に活動することによって、仲間ができ、孤独ではなくなった。とても楽しい時期を過ごさせていただいたので、若い方にもぜひ勧めていきたいと思っている。公的な機関だけでなく、他にも楽しい場所がたくさんあることを伝えたい。楽しく過ごせたことで、今もいろんなことに携わらせていただいていると感じる。
委員	来ない人・行けない人をどうしていくかが課題ではないか。「広報おおむた」は全戸配布されているが、中には見ていない人もいないのではないか。「おおむたっ子」を学校から子どもが持って帰った時、表紙に興味を持ってもらえるような工夫が必要ではないか。
委員	メッセージを載せることも大切だが、外に出やすい環境づくり等、何か手立てを考えていくことも必要ではないか。
委員	親になるまで、赤ちゃんに触れたことがない親もおり、赤ちゃんにどう接すればよいのか分からない親も多くいた。学校の空き教室を使って地域の赤ちゃん連れの親子が行けるサロンのようなスペースを設ける取組みをしている市町村もある。そこでは司書の先生が読み聞かせを行ったり、子

	育て相談にのっている。子ども達にとっては自分が親になったとき、ここに来ていたお母さんや先生に相談するきっかけになっているのだと感じた。
議長	いい関係やきっかけを作るのは難しいが、その見本や例をメッセージを通して伝えていきたい。

（仮称）総合体育館の建設について

配布資料「大牟田市総合体育館建設に係る基礎調査報告書 概要版」および「（仮称）総合体育館建設に係る交通実態調査及び解析 報告書 総合評価表」に基づき、徳永スポーツ推進室室長より説明。以下の質問が出た。

委員	体育協会はどの程度関わっているのか。
行政関係者	ワークショップを開催したがその中にも入っていただき、意見をいただいている。
委員	学校再編も進んでいるが、閉校した学校の体育館を使っていくことは考えられていないのか。総合体育館まで行けない人もいると思うので、そのような方のニーズ等も踏まえて検討していただけたら。
行政関係者	今後全庁的に検討していく必要がある。

◆そ の 他

⇒次回会議 平成29年2月15日（水）14時00～予定